



教科名： 懸架装置

2023年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時期： 1年 後期

科目： 自動車整備作業

時限数： 32時限

<改訂履歴>

| 改訂年度 | 改訂事由 | 発行日/担当 | |
|------|------------|--------|----|
| FY18 | シラバスメンテナンス | 1/23 | 中野 |
| FY19 | | | |
| FY20 | 内容確認 変更なし | 3/10 | 合田 |
| FY21 | | | |
| FY22 | 内容確認 変更なし | 3/19 | 村上 |
| FY23 | シラバスメンテナンス | 6/1 | 合田 |

| 教頭 | 課長 | 学年統括 | 教科担当 | 教科担当 |
|----|----|------|------|------|
| | | | | |

一級自動車工学科・自動車整備科 2023年度

授業計画

| 時期 | 1年後期 | 単元 | 実習 | 教科名 | 懸架装置 | | |
|-------------|---------|-------------|----------------|-----|------|-------------|-------|
| 科目 | 自動車整備作業 | 教科書等 持参品 | 三級自動車シャシ | | 発行日 | 2019/1/23新規 | |
| | | | 二級自動車シャシ | | | | |
| ※注1 総時限 | 32時限 | | 学習ノート(初回授業時配布) | | 教科担当 | 村上 政明 | ※ ● ■ |
| ※注1 授業時間 | 51.2時間 | | | | | | ※ ● ■ |

一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1905.6時間(50分ベース)を確保(法定合計時間1850時間(50分ベース))

1. 指導教員の実務経験 該当 非該当

自動車整備士として懸架装置作業の実務経験がある教員により懸架装置の分解組立について指導する

2. 教科の目的(この学科の狙い、目的を明確に記入)

- ①ドライブシャフトの分解、組み立てができる。
- ②サスペンションの脱着ができる。

3. 授業の到達目標(何を理解し何が出来るようになるのか)

- ①ドライブシャフトを車両から取り外し、ブーツの脱着、交換ができる。
- ②ストラットを車両から取り外し、スプリングの脱着、交換ができる。

4. 学習評価(期末試験での主な試験項目)

実習の評価は、レポート提出後に試験を行い、60点以上(工学科は70点以上)を合格とする

試験内容

実技試験 70%

- ①ドライブシャフト分解・組み立て
- ②ストラット脱着
- ③ストラット分解・組み立て

筆記試験: 30%

- ①名称試験

5. 準備学習

・二・三級自動車シャシ、学習ノートの該当項目について予習しておく。

※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す

※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者

6. 指導目標

- ①車両からのドライブシャフト脱着と分解・組立方法について理解させる。
- ②サスペンションの種類、特徴について理解させる。
- ③車両からのストラット脱着とストラットの分解・組立方法について理解させる。

一級自動車工学科・自動車整備科

2023年度

授業計画

| 時期 | 後期 | 単元 | 実習 | 教科名 | 懸架装置 |
|------------------------------|--------------|---------------------|----|--|------|
| 7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明) | | | | | |
| 番号 | 作業名 | 遵守事項 | | 災害事例 | チェック |
| 1 | F、Rサスペンション脱着 | 作業グローブ着用 | | 実習車両からのサスペンション脱着時、手先をボデーなどに引っ掛け負傷 | |
| 2 | 左右ドライブシャフト脱着 | 作業グローブ着用 安全めがね着用 | | 実習車両からのサスペンション脱着時、手先をボデーなどに引っ掛け負傷 実習車両の下に入っでの作業時、目に異物が混入。 | |

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場



実習車両1台当たり4～5名（5グループ）で実習を行う。



作業テーブル1台当たり3～4名（6グループ）で実習を行